



第5回企画展

戦後復興へのみち

—英連邦軍進駐時代の呉—

平成18年 平成19年
12月8日(金)～2月12日(月・祝)

場所

大和ミュージアム 1階 大和ホール

料金

一般(大学生以上) ……300円 (700円)
高校生 ……200円 (400円)
小・中学生 ……100円 (200円)
※()内は常設展示とのセット料金

開館時間・休館日

開館時間：午前9時～午後6時
休館日：火曜日 (祝日の場合は翌日)
※年末年始(12月29日～1月3日)は無休

アクセス

電車・バスでお越しの場合

JR呉駅から徒歩5分
または、呉市営バス宝町中央循環線
「ゆめタウン・大和ミュージアム前」下車徒歩1分

お車でお越しの場合

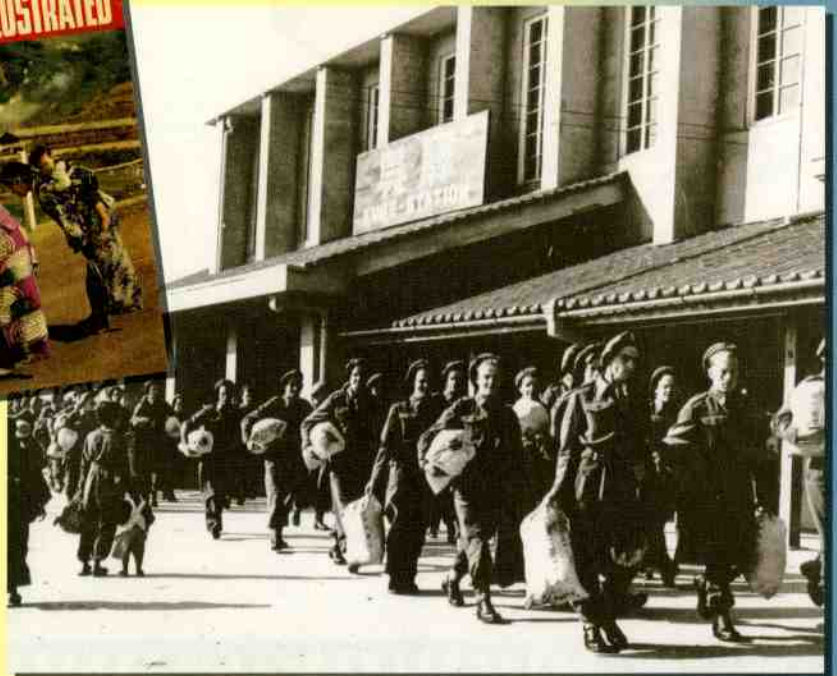
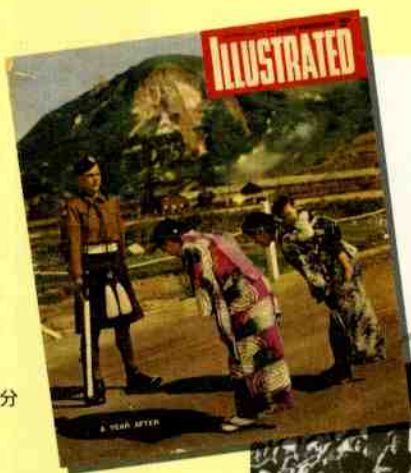
クエアライン呉ICから約5分
山陽自動車道・西条ICから約1時間

フェリーでお越しの場合

中央桟橋から徒歩1分

お問い合わせ

〒737-0029 広島県呉市宝町5-20
TEL 0823-25-3017
ホームページ <http://yamato.kure-city.jp/>



同時開催 (12月8日～2月12日)

呉市入船山記念館
企画展「中・四国地方の占領軍拠点としての呉
—戦後の入船山記念館—」

【お問い合わせ】TEL 0823-21-1037

大和ミュージアム
呉市海事歴史科学館

戦後復興へのみち

—英連邦軍進駐時代の呉—

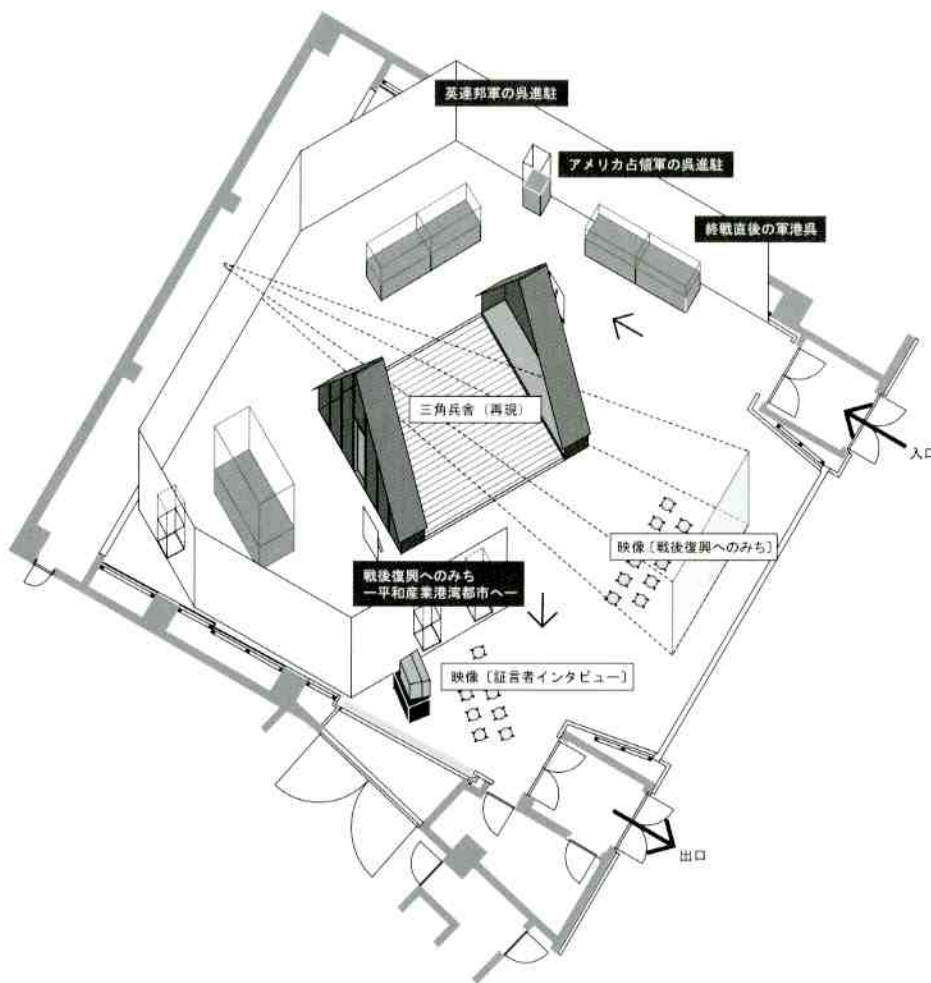
開催にあたって

呉市海事歴史科学館 館長 戸高 一成

本年は、昭和21(1946)年2月に英連邦占領軍が呉に進駐してから60年目、国連軍となって撤退してから50年目となる節目です。アメリカ軍にかわり軍事的治安を引き継いだ英連邦軍は呉市に司令部を置き、中国四国地方に展開しました。海軍という存立基盤を失った呉市では、英連邦軍が最大の雇用の場ともなり、昭和28年段階において市民所得の約40%が英連邦軍に関連するほどでした。職場を中心に、駐留軍と市民との交流も進展し、時には結婚へと発展することもありました。

この企画展では、英連邦軍関係資料を中心に、当時の映像記録や写真、関係者の証言映像などを通して、占領下の呉が終戦後の混乱期から復興のみちへと進んでいく姿を紹介いたします。

展示の配置



関連年表

年	月	
昭和20 (1945)	8	第2次世界大戦終結
	9	枕崎台風により死者1,154人、負傷者440人、流失家屋1,162戸、半壊家屋792戸発生
	10	アメリカ占領軍輸送船団約30隻広湾に入港し、本体19,500人上陸
昭和21 (1946)	11	海軍官制廃止に伴い、呉鎮守府閉庁
	2	英連邦軍先遣隊と海軍部隊、呉に入港
	2	第34オーストラリア歩兵旅団など英連邦占領軍(BCOF)主力部隊が呉に到着。以後、英連邦占領軍は呉市を中心に、中国・四国地方へ展開
昭和22 (1947)	3	広島県の占領業務がアメリカ占領軍から英連邦占領軍に引き継がれる
	10	特別都市計画法に基づき、呉市が特別都市指定を受ける
	11	日本国憲法発布
昭和23 (1948)	4	新憲法による第1回市長選挙実施
	12	国道32号線(現・国道31号線) 魚見山トンネル完成
	1	呉港が貿易港として開港
昭和25 (1950)	4	旧軍港市転換法案が国会で議決
	6	旧軍港市転換法についての住民投票実施 投票総数87,993票のうち賛成81,355票と圧倒的支持を得る
	6	朝鮮戦争爆发
昭和26 (1951)	6	旧軍港市転換法公布
	8	市営プールにおいて日米豪交歓水上競技大会開催
	1	呉港が重要港湾に指定される
昭和27 (1952)	9	サンフランシスコ講和会議を経て、対日平和条約調印
	4	講和条約発効となり、駐留軍労働者の労使関係が、英連邦軍朝鮮派遣軍(BCFK)直接雇用となる
	11	当時世界最大のタンカー「ベトロ・クレ」(38,000トン)がNBC呉造船部で進水
昭和29 (1954)	12	旧軍港市転換法により旧軍用水道を呉市に無償で譲渡
	7	海上自衛隊呉地方隊・呉地方総監部発足
	11	国連軍撤退式